

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 5 部門第 1 区分
【発行日】平成28年9月8日(2016.9.8)

【公開番号】特開2015-183579(P2015-183579A)
【公開日】平成27年10月22日(2015.10.22)
【年通号数】公開・登録公報2015-065
【出願番号】特願2014-60243(P2014-60243)
【国際特許分類】

F 0 1 D 25/30 (2006.01)

【F I】

F 0 1 D 25/30 A

F 0 1 D 25/30 B

【手続補正書】

【提出日】平成28年7月25日(2016.7.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ロータ軸周りに設置され、ディフューザの前記ロータ軸側の側壁であるフローガイドを備え、

前記フローガイドは、半円弧状の横断面を有する第 1 部分と、半円弧状の横断面を有し、前記第 1 部分に比べ熱変形量が小さい第 2 部分が組み合わされて、円錐台形状に形成され、

前記第 2 部分と合わさる前記第 1 部分の結合部は、前記ロータ軸側が前記ディフューザの蒸気流路側よりも周方向に突出した第 1 突出部を有し、

前記第 1 部分と合わさる前記第 2 部分の結合部は、前記ディフューザの蒸気流路側が前記ロータ軸側よりも周方向に突出し、前記フローガイドの径方向で前記第 1 突出部と重なり合う第 2 突出部を有する蒸気タービン。

【請求項 2】

前記第 2 部分の板厚は、前記第 1 部分の板厚よりも大きい請求項 1 に記載の蒸気タービン。

【請求項 3】

前記第 2 部分の前記ロータ軸側の内面と接続されて、前記第 2 部分の熱変形を前記第 1 部分よりも小さくする拘束部材を有する請求項 1 に記載の蒸気タービン。

【請求項 4】

前記拘束部材は、前記第 2 部分との間に空間を形成する面部材を有する請求項 3 に記載の蒸気タービン。

【請求項 5】

前記ロータ軸の軸線に対して垂直な面内に、前記第 2 部分の内面に周方向に接触して配置され、前記第 2 部分に接続される複数のリブを有する請求項 1 又は 2 に記載の蒸気タービン。

【請求項 6】

前記ロータ軸に干渉せず、かつ、前記ロータ軸の軸線が通過する水平面に対して平行に前記第 2 部分の内側に配置され、前記第 2 部分の内面に接続される仕切り板を有する請求項 1 又は 2 に記載の蒸気タービン。

【請求項 7】

辺縁が前記仕切り板と前記第 2 部分の内側と周方向に接触して接続される側壁と、
前記第 2 部分と前記仕切り板と前記側壁とに囲まれる空間と、を有する請求項 6 に記載
の蒸気タービン。

【請求項 8】

前記第 1 突出部が、前記ロータ軸の軸線を含む水平面に対して所定の角度で交差する面
内に形成された第 1 接触面を有し、

前記第 2 突出部が、前記第 1 接触面に対向するよう形成された第 2 接触面を有する請求
項 1 から請求項 4 のいずれかに記載の蒸気タービン。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 2】

上半フローガイド 7 2 を備えるフローガイドは、フローガイド軸側空間 1 5 の蒸気によ
り加熱されるときに、上半フローガイド 7 2 が下半フローガイド 3 1 より熱変形しにくい
ことにより、既述の第 1 実施形態におけるフローガイド 1 6 と同様に、接触面 4 2 が
接触面 7 5 に押し付けられる。このとき、下半フローガイド 3 1 と上半フローガイド 7 2
は、内側段差部 4 1 と外側段差部 7 4 によって、径方向で重なりあった状態である。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 4】

